

PORT OF THE YEAR 2025

ポート・オブ・ザ・イヤー2025の 推薦書の受付を開始します

参考：これまでの受賞港

2003年

名古屋港 [愛知県]
準ポート・オブ・ザ・イヤー
石垣港 [沖縄県]

2004年

大船渡港 [岩手県]

2005年

姫川港 [新潟県]

2006年

中津港 [大分県]

2007年

該当なし

2008年

大竹港 [広島県]

2009年

該当なし

2010年

輪島港 [石川県]

2011年

船川港 [秋田県]

【特別賞】

秋田港、能代港、酒田港、新潟港

2012年

十島村及び三島村 [鹿児島県]

2013年

八幡浜港 [愛媛県]

2014年

福良港 [兵庫県]

2015年

細島港 [宮崎県]

2016年

酒田港 [山形県]

2017年

境港 [鳥取県・島根県]

2018年

紋別港 [北海道]

2019年

釜石港 [岩手県]

2020年

佐渡島の港 [新潟県]

2021年

川内港 [鹿児島県]

2022年

秋田港 [秋田県]

2023年

厳島港 [広島県]

2024年

小樽港 [北海道]

概要

情報誌「港湾」では、読者の投票により、港湾の利活用やみなとまちづくりなどの各種の港湾活動や、港に関する話題づくりにその年で最も優れ、我が国の港湾・臨海部の活性化に寄与し、「みなとの元気」を高めた港湾を選定し、「ポート・オブ・ザ・イヤー」として表彰しています。

8月1日より「推薦書」を公募し、応募のあった「推薦書」を掲載した上で投票開始いたします。

対象港湾

重要港湾、地方港湾を問わず、全国すべての港湾が投票の対象となります。

選定基準

港湾管理者をはじめとする港湾関係行政機関、港湾利用企業、港湾を活動の場とするNPOや市民団体などが、地域の特性を活かしたユニークで工夫に満ちた活動や取り組みを行った結果、「みなとの元気」が著しく高まり、他の港湾にとっても大いに刺激になった港湾や、我が国港湾界においてエポックメイキングな取り組みが行われた港湾が対象となります。

「推薦書」の公募

8月1日より推薦書を公募します。応募できる者は協会会員の港湾所在市町村もしくは港湾管理者といたします。

「推薦書」公募について7月下旬に協会HP及び情報誌「港湾」8月号に掲載します。「推薦書」様式は協会HP (URL : <https://www.phaj.or.jp/POTY/>) を参照下さい。「推薦書」は8月1日(金)から9月5日(金)まで受け付けます。

投票方法

提出された「推薦書」を協会HP (9月下旬) 及び情報誌「港湾」(10月号・11月号) に掲載し、10月1日より読者の皆様からの投票受け付けを開始します。読者等から最も支持の多かった港湾を「ポート・オブ・ザ・イヤー 2025」に選定いたします。

選定結果は、令和8年1月22日に都内で開催予定の「ポート・オブ・ザ・イヤー 2025」表彰式にて発表予定です。主なスケジュールは以下の通りです。

- 令和7年 8月 1日 「推薦書」受付開始 (協会HP掲載、「港湾」8月号掲載)
9月 5日 「推薦書」受付〆切
10月 1日 投票開始 (協会HP掲載、「港湾」10月号・11月号掲載)
11月28日 投票〆切
- 令和8年 1月22日 「ポート・オブ・ザ・イヤー 2025」表彰式

表彰等

「ポート・オブ・ザ・イヤー 2025」に選ばれた港湾は、当協会会長から賞状及び盾が授与されるほか、情報誌「港湾」にて紹介されます。また、当協会発行のポケットブック「数字でみる港湾2026」の表紙と裏表紙に選ばれた港湾の写真を掲載します。